

# 外傷性ストレスの精神療法 ファーストステップ

参加費  
無料

— トラウマから回復する道筋をどう伝えるか —

日時

2022年9月4日 14:00-16:00

参加者

この領域に関心のある支援者・専門職および関連領域の大学院生  
500名(当事者や家族の方の申し込みは受け付けておりません)

オンライン  
開催

- ▶ 本シンポジウムはオンラインでの開催となります。
- ▶ 配信アプリは「Zoomウェビナー」を予定しております。
- ▶ 参加にはオンライン上での参加登録が必要となります。  
参加登録は下記サイトよりお手続きをお願いいたします。

<https://va.apollon.nta.co.jp/kum-symposium2022/>

たくさんの参加登録  
お待ちしております！



## 開催趣旨

外傷性ストレスは、自然災害や事故のように非日常的に生じるものもあれば、長期にわたる虐待やDVのように日常生活の中に潜むものまで含まれます。医療だけでなく、福祉や学校、行政などの臨床現場において、外傷性ストレスを抱えた方と出会うことは決して特別なことではありません。しかしながら、外傷性ストレスの存在がひとたび明らかになると、数少ない専門機関への紹介を求める風潮があるのも事実です。求められるニーズと提供している支援体制のギャップがまだまだ大きいのが現状です。本シンポジウムでは、必ずしも外傷性ストレスを専門としていない一般・若手の支援者のご参加を歓迎いたします。精神療法の第一歩として具体的にどう向き合っていけばよいか、各講演者がこれまで作成してきた心理教育マテリアルとともに紹介します。トラウマから回復する道筋をどう伝えるかについてイメージできるようなシンポジウムにしたいと考えています。

## 座長

大江美佐里 (久留米大学保健管理センター・医学部神経精神医学講座)  
黒木 俊秀 (九州大学大学院人間環境学研究院)

## シンポジスト

- ▶ 松岡美智子 (久留米大学保健管理センター・医学部神経精神医学講座)  
「PTSDの精神療法と心理教育ツールの活用」
- ▶ 小俵 京子 (久留米大学医学部神経精神医学講座)  
「外傷性ストレスを抱える患者との精神療法  
～若手精神科医の立場から～」
- ▶ 大岡 由佳 (武庫川女子大学心理・人間関係学科)  
「トラウマ・インフォームド・ケア」
- ▶ 片柳 章子 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター)  
「思春期を対象とした認知処理療法」
- ▶ 石田 哲也 (久留米大学医学部神経精神医学講座)  
「トラウマ症状に合併した嗜癮問題への精神療法」

主催

久留米大学医学部神経精神医学講座・  
久留米大学病院カウンセリングセンター

事務局  
代行

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1-5F  
株式会社日本旅行 九州法人営業部内  
TEL: 092-451-0606 E-mail: kum-symposium@nta.co.jp